

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 公開特許公報(A)

(11) 特許出願公開番号

特開2011-56671

(P2011-56671A)

(43) 公開日 平成23年3月24日(2011.3.24)

(51) Int.Cl.	F 1	テーマコード (参考)
B 4 2 F 5/00 (2006.01)	B 4 2 F 5/00	2 C 0 1 7
B 4 2 F 17/32 (2006.01)	B 4 2 F 17/32	C

審査請求 未請求 請求項の数 5 O L (全 8 頁)

(21) 出願番号	特願2009-205550 (P2009-205550)	(71) 出願人	508139918
(22) 出願日	平成21年9月7日(2009.9.7)		小川 紘
			東京都目黒区中町2-23-8
		(74) 代理人	110000084
			特許業務法人アルガ特許事務所
		(74) 代理人	100068700
			弁理士 有賀 三幸
		(74) 代理人	100077562
			弁理士 高野 登志雄
		(74) 代理人	100096736
			弁理士 中嶋 俊夫
		(74) 代理人	100117156
			弁理士 村田 正樹
		(74) 代理人	100111028
			弁理士 山本 博人

最終頁に続く

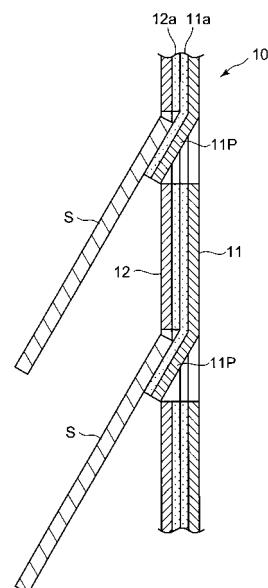
(54) 【発明の名称】 アルバム用台紙

(57) 【要約】

【課題】 1枚の台紙に多数の写真を効率良く保持掲示することができるアルバム用台紙の提供。

【解決手段】 接着剤層を有する下層紙と離型剤層を有する上層紙とを、当該接着剤層面と離型剤層面にて積層して成る台紙本体に、写真貼付用凸片を下層紙に形成する切り込みを適宜数形設したことを特徴とするアルバム用台紙。

【選択図】 図3



【特許請求の範囲】**【請求項 1】**

接着剤層を有する下層紙と離型剤層を有する上層紙とを、当該接着剤層面と離型剤層面にて積層して成る台紙本体に、写真貼付用凸片を下層紙に形成する切り込みを適宜数形設したことを特徴とするアルバム用台紙。

【請求項 2】

切り込みが、台紙本体切り込み部と、上層紙切り込み部とから成ることを特徴とする請求項 1 記載のアルバム用台紙。

【請求項 3】

上層紙切り込み部が、ミシン目で形成されていることを特徴とする請求項 2 記載のアルバム用台紙。

【請求項 4】

切り込みが、台紙本体切り込み部のみから成ることを特徴とする請求項 1 記載のアルバム用台紙。

【請求項 5】

切り込みが、当該切り込みによって形成される写真貼付用凸片を、貼付する写真のサイズより小間隔にて縦列状に配置するように複数形設されていることを特徴とする請求項 1～3 の何れか 1 項記載のアルバム用台紙。

【発明の詳細な説明】**【技術分野】****【0001】**

本発明はアルバム用台紙、更に詳細には、1 枚の台紙に多数の写真や葉書等を効率良く保持掲示することができるアルバム用台紙に関する。

【背景技術】**【0002】**

従来よりアルバム用台紙としては種々の形態の保持掲示手段が報告されているが、これらは何れも写真をそのまま見ることができるように、各写真はその全面が露出するように保持掲示されるものであった（例えば特許文献 1 及び 2 参照）。

【0003】

そのため、従来のアルバム用台紙の場合には、1 枚の台紙に保持掲示し得る写真は、通常サイズでせいぜい 2～3 枚が限度であり、多数の写真を保持掲示するためには、必然的に台紙の枚数も多くならざるを得ないと云う問題があった。

【0004】

また、写真の 4 隅を係止する方式や、同一サイズの袋状ホルダーを並設せしめた従来のアルバム用台紙の場合には、保持掲示する写真のサイズが限定され、種々の写真のサイズに対応し得ないと云う問題もあった。

【先行技術文献】**【特許文献】****【0005】**

【特許文献 1】特開 2006-150600 号公報

【特許文献 2】特開 2006-103085 号公報

【発明の概要】**【発明が解決しようとする課題】****【0006】**

本発明は上記の如き従来の問題に鑑みてなされたもので、1 枚の台紙に多数の写真や葉書等を効率良く保持掲示することができ、しかも種々のサイズの写真に対応し得るアルバム用台紙を提供することを課題とする。

【課題を解決するための手段】**【0007】**

本発明者は、上記課題を解決すべく種々検討を重ねた結果、剥離可能な積層体から成る

10

20

30

40

50

台紙本体に、写真貼付用凸片を下層紙に形成する切り込みを適宜数形設すれば、極めて良い結果が得られることを見出し、本発明を完成した。

【0008】

すなわち、本発明は、接着剤層を有する下層紙と離型剤層を有する上層紙とを、当該接着剤層面と離型剤層面にて積層して成る台紙本体に、写真貼付用凸片を下層紙に形成する切り込みを適宜数形設したことを特徴とするアルバム用台紙により上記課題を解決したものである。

【発明の効果】

【0009】

本発明によれば、各写真貼付用凸片の表面（接着剤層面）に、各写真や葉書等の上縁部がわ裏面をそのまま貼着し得るので、写真等の保持掲示を極めて容易に行なうことができる。

特に、上記切り込み、従ってまた写真貼付用凸片を縦列状に複数配置すれば、自然に各写真が縦列方向に順次一部重ね合せられた状態で保持掲示されるので、1枚の台紙に多数の写真を効率良く保持掲示することができる。

【0010】

また、本発明は、写真貼付用凸片の表面（接着剤層面）に、写真の上縁部がわ裏面のみを固定して保持掲示するものであるため、特定のサイズに限らず種々のサイズの写真を保持掲示することができる。

【図面の簡単な説明】

【0011】

【図1】本発明アルバム用台紙の第1の実施の形態を示す概略正面説明図。

【図2】本発明アルバム用台紙の第1の実施の形態を示す要部拡大断面説明図。

【図3】本発明の第1の実施の形態に係るアルバム用台紙の使用例を示す要部拡大断面説明図。

【図4】本発明の第1の実施の形態に係るアルバム用台紙の使用例を示す概略正面説明図。

【図5】本発明アルバム用台紙の第2の実施の形態を示す概略正面説明図。

【図6】本発明アルバム用台紙の第1の実施の形態を示す要部拡大断面説明図。

【図7】本発明の第2の実施の形態に係るアルバム用台紙の使用例を示す要部拡大断面説明図。

【図8】本発明の第1の実施の形態に係るアルバム用台紙の使用例を示す概略正面説明図。

【発明を実施するための形態】

【0012】

以下本発明の実施の形態を図面と共に説明する。

【0013】

図1～図4は、本発明アルバム用台紙の第1の実施の形態を示す。

当該図1～図4において、10は台紙本体で、接着剤層11aを有する下層紙11と離型剤層12aを有する上層紙12とを、当該接着剤層11a面と離型剤層12a面にて積層した積層体により構成されている。

尚、ここに下層紙11や上層紙の12の材質は折曲可能なものであれば特に限定されない。

【0014】

20は切り込みで、これにより下層紙11に写真貼付用凸片11Pが形成されている。

この切り込み20は、上層紙12及び下層紙11を連続して切断する台紙本体切り込み部20aと、上層紙12のみを切断する上層紙切り込み部20bとから成り、写真貼付用凸片11Pを被覆する上層紙12の切除が可能となっている。

【0015】

当該台紙本体切り込み部20aと上層紙切り込み部20bは、完全な切れ目で形成され

10

20

30

40

50

ていても良いが、ミシン目（図示省略）で形成されていても良い。特に、上層紙切り込み部 20b をミシン目とした場合には、当該ミシン目の切離により上層紙 12 を切除し得る一方、当該ミシン目を切離しなければ、後述の第 2 の実施の形態と同様、上層紙 12 を残存せしめることもできる。

【0016】

切り込み 20 の形状は特に限定されないが、例えば平面視長方形状、半円状、半楕円状等が挙げられ、写真貼付用凸片 11P の形状はほぼこれに対応したものとなる。

【0017】

切り込み 20 の数も特に限定されないが、当該切り込み 20 によって形成される写真貼付用凸片 11P が、貼付する写真のサイズ、就中写真の縦巾寸法より小間隔にて縦列状に配置されるように、できるだけ多数形設するのが、1 枚の台紙に多数の写真を効率良く保持掲示する上で望ましい。特に、台紙本体 10 の下部まで形設すれば、パノラマ写真等のビックサイズの写真の場合であっても、上方位の写真貼付用凸片 11P と下方位の写真貼付用凸片 11P に、当該ビックサイズの写真の上部及び下部の裏面を貼着固定することにより、安定して掲示できるので好ましい。

【0018】

30 は野線で、台紙本体 10 の表面に、縦及び／又は横に適宜間隔で適宜数表示されている。この野線 30 を目安とすることにより、写真 S の位置合せが容易となるので、よりスムーズな写真 P の保持掲示が可能となる。

【0019】

40 はメモ欄で、台紙本体 10（本実施の形態においては台紙本体 10 の右側部）に設けられている。このメモ欄 40 に写真 S についてのメモを記入することにより、全面が露出していない下層に保持掲示された写真 S の内容を把握し得るので、見たい写真を容易に選択して見ることができる。

【0020】

50 は写真貼付用凸片 11P の位置を示す番号で、当該写真貼付用凸片 11P の右側方に位置する台紙本体 10 外縁部（本実施の形態においてメモ欄 40 中）に表示されている。この番号により現在保持掲示されている写真の枚数と位置を容易に把握することができる。

【0021】

60 は穴で、台紙本体 10 の右側最外縁部に形設されている。この穴 60 を利用すれば、台紙本体 10 を適宜数バインダー（アルバム本体）にファイルすることによりアルバムとすることができる。

【0022】

本発明アルバム用台紙は以上のように構成されているので、例えば写真 S を保持掲示するには、まず、台紙本体 10 の写真貼付用凸片 11P を、下層紙 11 がわから上層紙 12 がわに押し上げて折り曲げると、当該上層紙 12 と下層紙 11 間にズレが生じるので、写真貼付用凸片 11P を被覆する切り込み 20 内の上層紙 12 を容易に剥離除去することができる。次いで、露出した写真貼付用凸片 11P の接着剤層 11a 面に、写真の上縁部がわ裏面を貼着すれば、極めて容易にかつ貼付部材による被覆部が生じることなく、写真 S を全面露出せしめて保持掲示することができる。

【0023】

同様にして複数枚の写真 S を貼着すれば、図 3 及び図 4 に示される如く、最上部の写真貼付用凸片 11P に貼着された写真 S のみが全面露出した状態で保持掲示されるが、それより下位の写真貼付用凸片 11P に貼着された写真 S は、上位の写真により順次一部が重ね合せられた状態で保持掲示される。

而して、下位の写真 S を見る場合には、それより上位の写真を適宜捲り上げ、下位の写真 S を全面露出せしめれば良く、極めて簡便に全ての写真を見ることができる。

【0024】

尚、以上の実施の形態は、1 枚の台紙本体 10 を 1 枚の台紙として使用する形態を示す

10

20

30

40

50

ものであるが、1枚の台紙本体10に、左右対称形に本発明アルバム用台紙を形成し、二つ折りにすれば、1枚の台紙本体10を2枚の台紙として使用することもできる。

【0025】

図5～図8は、本発明アルバム用台紙の第2の実施の形態を示す。

この第2の実施の形態は、切り込み20が、台紙本体切り込み部20aのみ、すなわち上層紙12及び下層紙11を連続して切断するもののみから成り（従って、上層紙切り込み部20bは存在しない）、写真貼付用凸片11Pを被覆する上層紙12を除去することなく、残存せしめるように形設されている以外は第1の実施の形態と同一の構成となっている。

【0026】

而して、この第2の実施の形態の場合には、図7及び図8に示すように、写真貼付用凸片11Pを被覆する上層紙12の一部を剥離しつつ、捲り上げて写真貼付用凸片11Pを露出せしめ、当該写真貼付用凸片11Pの接着剤層11a面に写真Sの上縁が裏面を貼着することになる。

【符号の説明】

【0027】

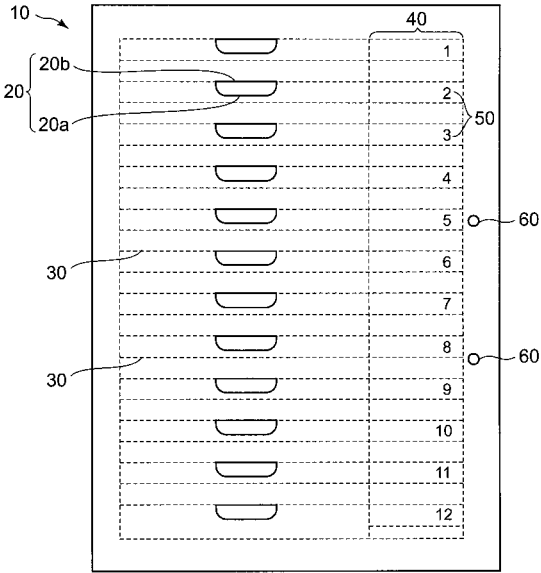
- 10：台紙本体
- 11：下層紙
- 11a：接着剤層
- 11P：写真貼付用凸片
- 12：上層紙
- 12a：離型剤層
- 20：切り込み
- 20a：台紙本体切り込み部
- 20b：上層紙切り込み部
- 30：罫線
- 40：メモ欄
- 50：番号
- 60：穴
- S：写真

10

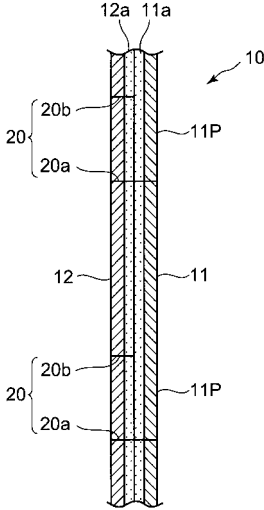
20

30

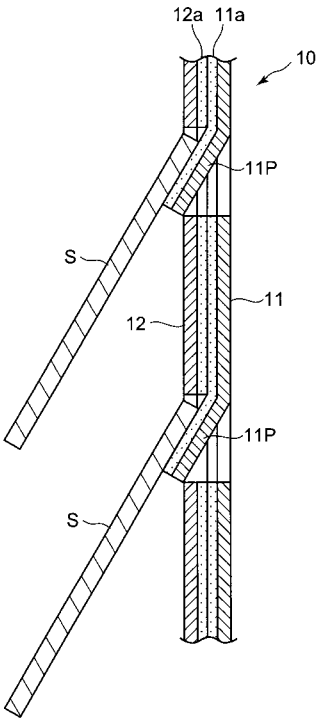
【図 1】



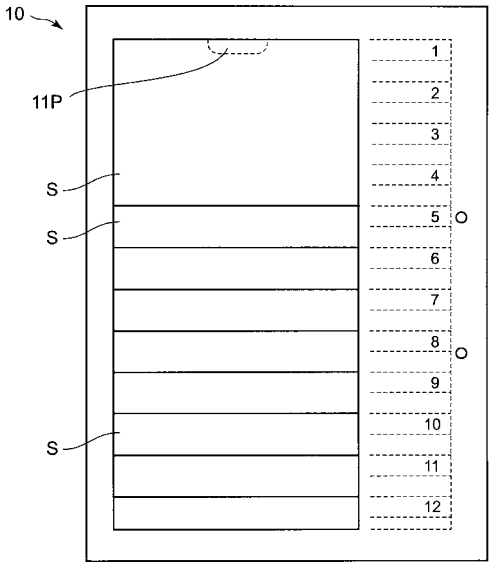
【図 2】



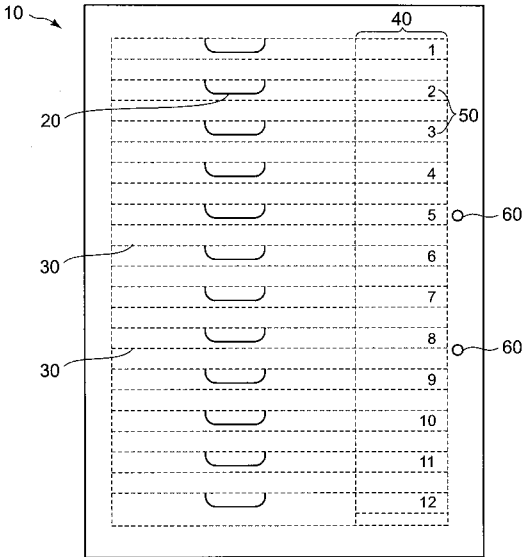
【図 3】



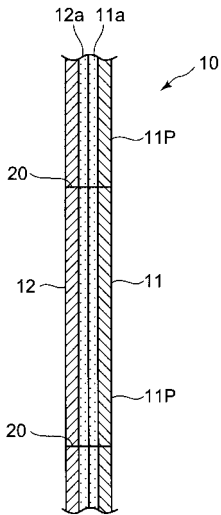
【図 4】



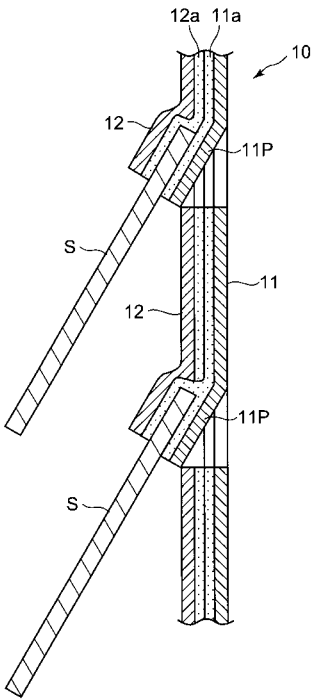
【図 5】



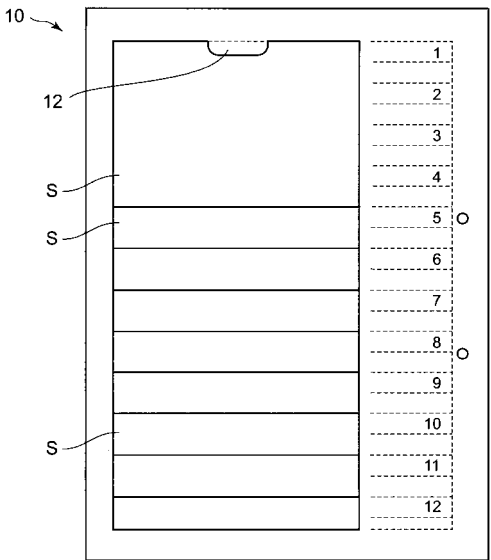
【図 6】



【図 7】



【図 8】



フロントページの続き

(72)発明者 小川 紘

東京都目黒区中町 2-2 3-8

Fターム(参考) 2C017 JA03 KA01 NA02 VA28 VB18 VD01